

市内で震度5強の地震発生

4月13日午前5時33分、島内を震源とするマグニチュード6.2の地震が発生しました。市内でも最大震度5強を観測し、市民生活や家屋などに大きな被害を及ぼしました。防災グッズを再度確認するなどして余震や今後発生すると予想される南海トラフ巨大地震に備えてください。



▲地震で屋根瓦が崩れた住宅

◆市内の被害状況(4月21日現在)
1人の重症者と2人の軽傷者が報告されているほか、86戸の家屋で屋根瓦が崩れるなどの被害が報告されています。
その他、市役所中央庁舎ほか公共施設で一部損壊の被害があり、市内11か所の水道施設も被害を受けました。

◆見舞金
市では、今回の地震で住んでいる家屋に一部損壊の被害を受けた世帯の世帯主に対し、1世帯あたり5千円の見舞金を支給します。支給の方法等については後日お知らせします。

◆罹災証明書の発行
各種届け出に必要な罹災証明書を発行しています。申請は各総合窓口センターおよび出張所、連絡所、支所に備え付けの申請用紙に被害写真を付けて申請ください。

各地区の人的被害及び建築物被害(4月21日現在)

| | 市内 | | | | |
|---------|-----|------|------|------|----|
| | 緑地区 | 西淡地区 | 三原地区 | 南淡地区 | |
| 人的被害(人) | 3 | 1 | 2 | - | - |
| 重症 | 1 | - | 1 | - | - |
| 軽傷 | 2 | 1 | 1 | - | - |
| 住家被害(戸) | 86 | 27 | 27 | 17 | 15 |
| 一部損壊 | 86 | 27 | 27 | 17 | 15 |

※被害状況、見舞金、罹災証明書申請等の内容は市のホームページでもお知らせしています。



▲被災世帯を訪問する市職員

「まず逃げる、更に高い所へ」

市民一人ひとりが日ごろから周到な準備を！
南あわじ市長 中田 勝久

今回の淡路島地震により被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

4月13日(土)午前5時33分、平成27年1月17日早朝に発生した阪神・淡路大震災以来の強い揺れを感じました。

強い揺れを感じた時、南海トラフ巨大地震を即座に覚悟したのは、私だけではなかったのではないかと思います。

今回の被災状況については、島内他市と比べると少なかつたとはいえ、市内においても震度5強を記録、負傷者3名(内1名重傷)、非住家を含む建物の一部損壊等が154件となっており(4月21日現在)。

今後、高い確率で発生が想定されており、南海トラフ巨大地震に市として

備えてまいりますが、自主防災組織を始めとした市民の皆様のご理解、ご協力、そして行動力が必要不可欠であります。

今回の淡路島地震においては、発生と同時に、南あわじ市災害対策本部を設置、市職員200人体制で災害対応と、被害調査などにあたりました。しかし、市が行うことができる対策にも限りがあります。

「自分の命は自分で守る。家族の命は家族で守る。地域の命は地域で守る。」

市民の皆様方におかれましては、市の防災施策はもとより、今後とも自主防災組織をはじめとする、市をあげて、地域をあげての防災活動により一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

モデル地区で市民交流センターオープン



▲市民交流センターの看板を掛ける西淡志知市長(左)、田中センター長(右)と中田市長

平成27年の新庁舎の開庁にあわせて市内21地区で開設される市民交流センター。これに先駆け4月1日から市内5地区(松帆、伊加利、西淡志知、神代、三原志知)のモデル地区で市民交流センターがオープンしました。

オープンとなった4月1日、西淡志知交流センターで多くの地区関係者に参加いただき、モデル地区の看板が入口にかけられ、各センター長に委嘱状が手渡されました。

中田市長は「モデル地区で実施検証することで、将来の全地区での開設の方向性を決める自信につながる」と話し、西淡志知センター長の田中光晴さん(志知北)は「地

域コミュニティの向上を目指して頑張ります」と力強く話してくれました。

市民交流センターの窓口サービスQ&A
Q1. 市民交流センターが5地区でオープンしたけど、何ができるの?

A. 市民交流センターでは証明書の発行サービスのほか、地域コミュニティの支援(地域づくり)や従来の公民館活動も行っています。できるだけ多くの市民の皆さんに訪れていただけるよう「地域活動拠点」として設置しています。

Q2. 発行できる証明書とできないものがありますか?

A. はい。発行できるものとできないものがあります。

《交付できる証明書》
戸籍全部事項証明書・個人事項証明書(戸籍謄本・抄本)、戸籍附票の写し(全部・一部)、住民票の写し(全部・一部)、住民票記載事項証明(全部・一部)、印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書、納税証明書

《手数料》
戸籍全部事項証明書・個人事項証明書(戸籍謄本・抄本) 1通450円、その他の証明書1通300円

※証明書発行には、官公署が発行する有効期間内の本人確認書類が必要です。必ずお持ち下さい。



▲市民交流センターを利用する市民

西淡中学校がスタート!!



▲西淡中学校の校歌を歌う同校吹奏楽部員

旧御原中学校と旧辰美中学校が統合され「西淡中学校」がスタートしました。旧御原中学校の校舎を利用して開校する同校で4月8日、開校式が2、3年生約170人や教職員、地元自治会長たちが参加して執り行われました。

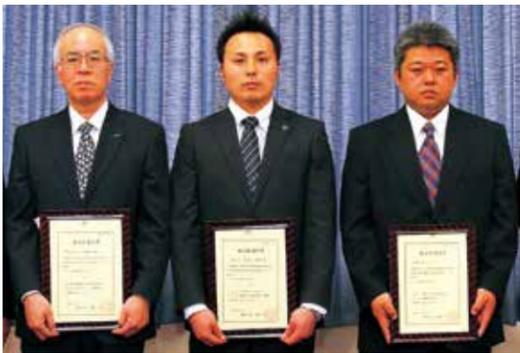
この日は、旧両中学校の生徒が考えた校章が刺繍された校旗の授与が行われたほか、公募により決定した工藤和久さん(青森県)の歌詞にあわせ作曲家の三原聡さん(北阿万)によ

り作曲された校歌が同校の吹奏楽部により披露されました。

式典で中田市長は「御原中学校と辰美中学校の歴史を心にし、勉強などあらゆる面で努力してほしい」とあいさつ。同中学校の三谷高資校長は「新たな校風をつくり、新しい中学校を創造していきたく」と力強く話しました。

翌日9日の入学式で新入生78人を迎え、西淡中学校としての新しい歴史を刻みはじめました。

消防団協力事業所へ表示証の伝達式



▲3月28日に表示証の伝達式が行われました

地域防災を支える消防団の活動がますます重要性を増している現在、全国でも消防団員の約7割が被雇用者という状況のなか、いざという時の団員の出勤や活動においては、勤め先の会社や事業所の理解と協力が重要です。

そこで、総務省消防庁では「消防団協力事業所表示制度」を導入し、消防団活動に協力する事業所に対して表示証を交付しています。

市内では今年新たに次の

- ◆株式会社Dantō 淡路島工場 (北阿万)
- ◆北村電機株式会社 (榎列)
- ◆医療法人社団淡路平成会 平成病院 (八木)

それぞれの事業所では、火災時の出勤は公休(有給)扱いとなるなど、消防団の協力事業所認定基準に適合していることから認定を受けました。